



シャローム shalom

No.118
2013.07

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



赤ちゃんからはじまる小児科医療

日本バプテスト病院では、未熟児や病気の新生児に対し充実した診療を行うために、「新生児集中治療室(NICU)」を運営しています。新生児の人工呼吸など集中治療に熟達した医師や看護師のもと、500グラム未満の超低出生体重児でさえも元気に退院し、すくすくと成長しておられます。

NICUには当院出生だけではなく、京都市内の産科施設で出生した赤ちゃんもご紹介を頂いています。医師同乗の当院救急車で迎えに上がり、安全に搬送しています。

赤ちゃんの入院にあたっては、母児分離が問題になります。その悪影響を予防するため、面会時間の制限を少なくし、面会ノートやカンガルーケア^{※1}等活用して、母児関係の改善にこまやかに配慮しています。

最近では重篤な呼吸障害に対する一酸化窒素吸入療法や、新生児仮死蘇生後の脳低温療法など、最新

やまかわ とおる
小児科部長・NICU部長 山川 孔

の治療法も導入し、診療体制はなお一層充実しました。

赤ちゃんがNICUを退院した後も、外来で発育発達を見守り、予防接種等ふくめ一貫した診療を行っています。必要に応じリハビリや発達検査・相談も行います。また障害をのこしたお子さんに対する、訪問診療やレスパイト入院^{※2}などの在宅医療にも着手しています。

当院小児科ではこのような診療を通じて、全人医療の当院理念に基づき、出生時から始まり一貫したトータルケアを提供します。よろしくお願ひします。

※1 カンガルーケア：お母さん（お父さん）と赤ちゃんが直接、肌を合わせて抱っこする方法。

※2 レスパイト入院：在宅で介護されているご家族に休養をとっていただくための一時的な入院。

| 新任ドクター紹介 (2013年4月着任)

今はまだホスピスというと大人のがん患者さんが中心になってしまいますが、小児や慢性疾患でも症状緩和がどこでも普通に行われるような医療を目指して日々精進したいと思います。よろしくお願ひ致します。

ホスピス副部長
蓮池 史画



ホスピス医長
鈴木 馨



外科医長
大越 香江



眼科医師
張 祐子



4月からバプテスト病院で勤務しております多賀敦子と申します。まだまだ学ぶことがたくさんありますが、少しでも皆様のお役に立てるように努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

産婦人科医師
多賀 敦子



4月から眼科クリニックに勤務させて頂きます石田学と申します。出身は新潟県です。眼科医としてはまだ未熟者ですが、明るさと元気が取り柄ですので、皆様どうかよろしくお願ひします。

眼科医師
石田 学



4月より眼科クリニックに勤務させていただいている張祐子です。眼科一般診療を行っています。地域の皆様に貢献できるよう日々努力しますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

バプテスト リレーコラム

vol.14

臨床工学室



みのもひろかず
臨床工学技士 萩毛 寛和

日本バプテスト病院臨床工学室は病院の地下の片隅にあり、臨床工学技士が一人で勤務しております。臨床工学技士の仕事でメジャーなのは、心臓カテーテル検査や人工透析・人工心肺装置の操作などですが、残念ながら当院にはありません。ですが、医療機器の点検や修理も重要な業務のひとつで、当院では機器に埋もれながら主にそのような業務をしております。機器のお医者さんと言ったところでどうか?その他人工呼吸器の装着立会いや顆粒球除去療法・腹水ろ過濃縮などのアフェレーシス業務や看護師さんへの勉強会などもしています。

患者さんと直接接する機会はありませんが、機器の向こうに患者さんがいることを忘れずに業務をしています。

病院業務のレベルアップに伴い業務が高度化していく中で、新しく納入される機器や業務について私自身お勉強の毎日です。

ボランティア さんからのメッセージ

少しでも良い1日を

ごとうまゆり
後藤 真有里さん



私はホスピスボランティアを始めて7年目で、現在はボランティアリーダーを務めさせていただいている。ボランティアには色々な人がいて、ベランダにお花を植えてくれる人、患者さんのお話をゆっくり聴く人、お茶を美味しい淹れる人、一緒に音楽を楽しむ人一各々が自分の出来ることをしてボランティアみんなで患者さんやご家族に少しでも良い1日を過ごしてもらえるような雰囲気づくりをしています。また、そっとしておいて欲しい患者さんはそっとしておくという気遣いも大事なことだと思っています。

患者さんやご家族のお辛さを本当に理解することは難しいかもしれません、その気持ちに寄り添いたいという思いだけは持ち続けたいと思っています。そして多くのことを学べるこのボランティアをボランティア仲間達と一緒に成長しながらよりよい活動にしていきたいと思います。



健康・栄養

第2回 食こぼれ話 ~7月22日は土用の丑の日です~

万葉集、巻十六

「石麻呂に吾物申す 夏瘦せに
よしと云ふ物ぞ うなぎ取り召せ」
大伴家持

この句は、痩せた石麻呂に夏場になつたら暑さでさらに痩せるから、夏瘦せにいい「鰻（うなぎ）」を食べてみてはどうだろうかと奨めている内容の歌で、1000年も前から、夏バテには「鰻」と言われていたようです。

「鰻」を暑いときに食べるというのは生活の知恵として定着していましたのでしょう。

土用の丑の日に

鰻を食べる習慣の由来

諸説ありますが、幕末の有名な発明家「平賀源内」のところに商売がうまくいかない知人の鰻屋が、何とか売れないと相談に行つたところ、源内は「本日丑の日」と、書いて店先に貼ることを勧めた。すると大繁盛し、その後、他の鰻屋もそれを真似るようになり、定着したとされています。

始まりは現代のバレンタインチョコや節分の恵方巻きのようなものだったのかもしれません。

かねこ みどり
管理栄養士 金子 緑



栄養と効能



鰻は質のよいたんぱく質と油 (EPA, DHA) が含まれ、またビタミンAをはじめ、B1, B2, D, E、カルシウム、鉄など優れた栄養素が豊富に含まれている魚です。

夏バテ、食欲減退防止、消化吸収を助ける効果があります。

当院でも、土用の丑の日には「鰻」をお出ししています。

ご飯食の患者様には鰻丼、粥食の患者様には鰻の蒲焼き、(一部の治療食は除く)をお出しします。

たかつか いくお
牧師室 高塚 郁男



聖書の小道

第8回

「クリスチャンと魚」

あなたは

メシア=救い主、

生ける神の子です

マタイによる福音書

16章16節

十字架が教会のシンボルであるように、クリスチャンのシンボルは「魚」です。キリスト教が迫害され、禁止されていた時代にはクリスチャンは信仰を公言出来ませんでしたから、黙って地面に魚を一気に描き、お互いがクリスチャンであることを言い表し、励まし合い信仰を強めていました。

魚はギリシャ語で「イクスース」と言います。この5つの文字は「イエス・キリスト・神の・子・救い主」の頭文字です。マタイによる福音書16章16節のペトロが進行を言い表した言葉です。信仰と魚は縁が深いようです。聖書に魚が時々登場したり(マルコ6章41節など)、イエスの弟子の中には漁師が多いのも頷けます。



歴史 HISTORY

バプテストの歩み 第2回

1953年、病院設立準備委員会が何度も開催される中、クラーク宣教師より「京都に島津氏別邸の約1万坪の土地と近代的建物があり、駐留軍接取中であるが買収可能である。」との情報が入りました。

既に外国からの賓客をもてなす迎賓館として京都市が、そしてアネックスを計画していた都ホテル(現ウェスティン都ホテル京都)が売買交渉に入っており、情勢は極めて不利でした。

しかしクラーク宣教師らが「看護師養成とそのための実習病院建設の計画」を熱心に説明したところ、島津源蔵氏の末亡人島津つるさんは島津製作所の担当者に「バプテストさんにお譲りしなさい。」と一言。まさに「つるの一声」で病院建設が決定したのです。



旧島津邸(島津別邸)

催し物報告

医療団 4月 イースターコンサート

2013年4月13日(土)の午後、アンサンブル・グレースの皆さん10名を迎え、ヘルマンハープの優しい音色を楽しみました。ハープの演奏にのせての朗読や曲当てクイズなどのプログラムに会場は和やかな雰囲気に包まれました。

参加者52名



お知らせ

眼科クリニック 屈折矯正手術(LASIK)説明会

メガネ、コンタクトにかわる屈折矯正手術について詳しくご説明いたします。

開催日時、場所については下記にお問い合わせください。
TEL 075-721-3800 (受付時間 9:00~11:00, 13:00~17:00)
URL <http://www.eye-clinic.gr.jp/>
※ホームページからもお申し込みいただけます。

献金・贈品 感謝ご報告

(2013.3.1~2013.4.30) 敬称略

パン・ソンピル 辻 麻友子 澤井 久子 八木 紗子 吉田 一茂
小泉 和男 酒井 清枝 岸本 忠男 更家 充
仙台基督教会 平針キリスト教会 アンサンブル・グレース

イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、隨時受け付けています。詳しくはおたずねください。

寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課 電話 (075) 702-5926

病院

チャペルアワー

日時: 2013年9月11日(水) 15:15~15:40

出演: 同志社混声合唱団

男声コーラス「メイル クワイア」

会場: 病院3階チャペル

※催しは都合により中止・変更になる場合があります。

また、ご入院中の方のみの参加にさせていただく場合もあります。ご了承ください。

お知らせ

医療団 ボランティア募集

当医療団ではボランティアを募集しております。

あなたも、患者さんのためにボランティア活動をしてみませんか。

募集しているボランティア活動

院内案内・受診付添・小児科外来・・・午前
病棟お手伝い・園芸・ピアノ調律・メイク
模擬患者(学校)・・・随時
礼拝誘導(火・金 12:45~13:45のみ)

学生さんの夏休み中、長期休暇中の手伝いも歓迎いたします。

時間・曜日・回数等については下記にご相談ください。

T E L 075-702-5927

担 当 松屋(内線:2215)・山本

U R L <http://www.jbh.or.jp/>

メール volunteer@jbh.or.jp

編集 後記

今号のトップコラムではNICUの働きを山川Dr.に紹介して頂きました。当院のNICUは京都で初めて認可された病院です。仕事上、何度もNICUへ伺いますが、赤ちゃんを見るたびに癒される想いがします。

又、春より新任Dr.が着任されました。どうぞ宜しくお願いいたします。(Y.F.)

日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだと、こころと、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.118 2013年7月発行

発行／一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人／代表理事 山岡義生 編集／日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。

日本バプテスト病院 <http://www.jbh.or.jp/>

バプテスト老人保健施設 <http://www.jbh.or.jp/roken/>

バプテスト眼科クリニック <http://www.eye-clinic.gr.jp/>

バプテスト訪問看護ステーション <http://www.jbh.or.jp/sisetsu/houmonkango.html>

バプテスト在宅ホスピス緩和ケアクリニック <http://www.jbh.or.jp/bhh/>

日本バプテスト看護専門学校 <http://www.jbsn-kyoto.com/>